

（仮称）相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業

準備書に対する意見書の概要及び都市計画決定権者の見解

令和 3 年 2 月

横浜市

1. 準備書に対する意見書の概要及び都市計画決定権者の見解

横浜市環境影響評価条例に基づき、「（仮称）相模鉄道本線（鶴ヶ峰駅付近）連続立体交差事業 環境影響評価準備書」に対し、2 通の意見書（延べ意見数 5 件）が提出されました。意見書の概要と意見数は、表 1-1 に示すとおりです。

意見書の概要と都市計画決定権者の見解は、表 1-2 に示すとおりです。なお、整理にあたっては、項目別としています。また、意見の概要については、個人情報等を除いて基本的に原文のまま掲載しています。

表 1-1 準備書に対する意見書の概要と意見数

意見項目		意見数	
環境影響評価	生物多様性（動物）（植物）	1 件	1 件
その他	主要幹線道路の拡張の予定	1 件	4 件
	高層ビルの風圧問題	1 件	
	駅前利用	1 件	
	駅前施設の存続	1 件	
合 計		5 件（2 通）	

表 1-2 意見書の概要と都市計画決定権者の見解

項目		意見書の概要	都市計画決定権者の見解
環境影響評価	生物多様性（動物） （植物）	帷子川親水緑道に現在確認されている植物、動物等の名前を教えてください。	帷子川親水緑道及びその周辺で実施した動物・植物の現地調査結果は、「準備書 第 6 章 6.2 生物多様性（動物）、6.3 生物多様性（植物）」に示したとおりです。 なお、種の保護に配慮し、「ミナミメダカの確認地点」、「植物、付着藻類の注目すべき種の確認地点、一部の注目すべき種の種名」については記載を控えました。
	主要幹線道路の拡張の予定	交通混雑となる、一般国道 16 号線、県道 40 号線の拡張の予定。	本事業に係る工事用車両の主な運行ルートは、対象事業実施区域周辺の主要幹線道路（一般国道 16 号、一般国道 16 号（保土ヶ谷バイパス）、県道 40 号（横浜厚木）等）とする計画としています。 二俣川駅付近から一般国道 16 号までの県道 40 号（横浜厚木）に関しては、都市計画決定がされている幅員での整備は完了しており、更なる拡幅計画はありません。また、一般国道 16 号は、国の管理であり、拡幅の予定等については、伺っておりません。 工事用車両の運行にあたっては、走行ルートの分散化及び混雑時間帯から他時間帯への通行の分散化を図ることで、交通流への影響を極力抑制するよう配慮する計画です。
その他	高層ビルの風圧問題	高層ビル（ココロット）の風圧問題はどうか？	本事業は、鉄道を地下化し踏切を除却する事業であり、新たな高層建築物を建設するものではありません。
	駅前の利用	駅前にイベントができる広場が欲しい。	本事業は、鉄道を地下化し踏切を除却する事業であり、駅前の広場や商業施設などを計画・建設するものではありません。 なお、本市では、鶴ヶ峰駅北口周辺地区において、平成 31 年 3 月に「鶴ヶ峰駅北口周辺地区まちづくり構想」を策定していますが、現時点で具体的なまちづくりプランは未定となっています。引き続き、地域の皆様と意見交換を積み重ねながら、まちづくりを実現するための手法等を検討し、地域・事業者・行政の 3 者協働によるまちづくりを推進していきます。
	駅前施設の存続	駅前ショッピングセンター（ロイヤルマート）を残してほしい。 （移転したとしても存続できる形を考えて欲しい）	